

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 3 日

事務事業名		県営事業の参画事業				事業区分		担当	
政策体系		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助		事務事業No. 050103000838	
総合計画の施策名		0501 農業の振興				主要事業		対象外	
政策名		05 魅力と活力のある産業社会づくり				市長マニフェスト		対象外	
施策名		01 農業の振興				未来PJ事業		対象外	
基本事業名		03 農業の効率化推進				合併建設計画事業		対象外	
財務会計上の位置付け		事業期間				単年度繰返し (平成23年度~)		グループ 農林G	
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計 農地関係事業		
法令根拠	01	06	01	05	02	00	期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】 茨城県に対し、市が県営事業(農道、かんがい排水等、ため池等)整備要望をし、その事業費の一部負担と事務協力をする事業です。 【担当者が行う業務の手順】 事業主体である茨城県に対する事務協力、関係者との連絡調整。 市町村負担分の負担金納入 【事業費の内訳】 (一般農道整備事業: 榊穂Ⅱ期地区) 計画事業費 399,950千円 国補: 50% 県費: 25% 市町村負担: 25% (調査計画事業: 青木塚地区) 調査事業費 7,000千円 県費: 50% 市町村負担15%、地元負担35%</p>	事業の調整・負担金の内訳確認。支払請求により伝票の処理。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
事業主体である茨城県に対する事務協力、関係者との連絡調整。市町村負担分の負担金納入	実施負担金額	千円	12,050.00	35,000.00	31,250.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
県営一般農道整備事業による農産物の輸送時間短縮	年度計画負担額	千円	12,050.00	35,000.00	31,250.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
県営事業の推進	推進率=全体事業費/計画事業費	%	83.40	91.20	100.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	内訳	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
量	費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	12,050	35,000	31,850	27,000	0	0
	事業費計(A)	千円	12,050	35,000	31,850	27,000	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
	述べ業務時間	時間	35.00	35.00	35.00	35.00	0.00		
	人件費計(B)	千円	102	102	102	102	0		
トータルコスト(A)+(B)				千円	12,152	35,102	31,952	27,102	0

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
	項目	金額		項目	金額	
	19 負担金補助及び交付金	35,000		19 負担金補助及び交付金	31,850	
	合計	35,000		合計	31,850	

(4) 当該年度の実施内容

実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	県営事業の参画事業	事務事業No.	50103000838	所属課	農林課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和52年度頃から、高生産性農業の促進・農業の近代化・農村環境の改善に資するため、農道やかんがい排水整備等を県営で実施する事業です。 ・平成25年度用地所得が完了になり取付道路に着工、平成27年度下部工事。・青木堰改修に向けた調査計画
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 整備事業の付帯工事を望む声が聞かれ、平成27年度で完了した。 青木堰の改修について地元の要望は、大規模改修が必要と要望されている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容
現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 計画内の道路は、狭隘で、桜川架かる上小幡橋は仮設橋で重量制限がある状況。完成すれば、地域の環境整備上有意義であります。また、青木堰については、改修に向けた有効な補助事業へつなげるための参画事業です。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 農業基盤を整備するための整備事業です。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 農業生産基盤整備内の道路等の整備以外の意図は考えられません。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 土地改良関係の各種事業を効果的に実施することが困難になります。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 土地改良関係の各事業を効果的に実施することが困難になることと投資効果が得られなくなってしまいます。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 実施機関は茨城県であり、事業相談窓口としての役割を担い最低限の人数で対応しています。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 茨城県が事業主体となり、国費・県費及び地元負担により実施しています。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																								
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持			×		低下			×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○	×																					
	維持			×																					
	低下			×																					
(6) 事務事業優先度評価結果																									
成果優先度評価結果																									
コスト削減優先度評価結果																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認